

ベナンの風便り

2008年7月号

みなさんお元気ですか？ベナンに着いて約1か月が経過しました。現在ベナンで一番の都市、コトヌーで語学研修を行っています。これまではフランス語の勉強をしていたのですが、来週からはいよいよ現地語のフォン語を1週間勉強します。現地語といっても地域によって異なるので、私がこれから生活するところでは違う現地語が使われているのですが、他の現地語とも似ているようなので、しっかり勉強したいと思っています。

フランス語の授業ではベナン人の先生にいろいろな話を聞かせていただきました。そのひとつに子どもの問題があったので紹介したいと思います。

子どもたちにおける問題

○健康面

乳幼児死亡率がとても高いそうです。原因は医療が整っていないことによるもの、栄養不足によるもの、そして呼吸感染症やマラリアなどの病気によるものなどです。（先進国は1000人あたり約6人、途上国は1000人あたり約79人の死亡率）

○教育面

学校に行っていない子どもがまだまだたくさんいます。政府は義務教育と言っていますが、実際に通うことができていないので義務教育になっていないそうです。原因としては、制服や学用品を買うことができない、また親に働き手として考えられていることなどです。

○社会面

子どもを学校へ行かさず働かせていること、そして子供の人身売買があるそうです。「〇〇ちゃんどこに行ったの？」と聞くと、「学校に行っている」「働きに行っている」そして「病気で死んでしまった」という返事が返ってきて、親はそのことを隠しているようです。子どもたちは隣のナイジェリアへ連れて行かれることが多いそうです。

○文化面

ヴードゥー教という宗教の問題、そして早期の結婚などです。ヴードゥー教についてはまだよく分かりません。結婚は一応18歳以上ということになっているようですが、違法で15歳以下の女の子が結婚したりすることがよくあるそうです。

日本では考えられない問題がアフリカなどの途上国で起こっています。でもこれが世界の現状なのです。自分たちには何ができるのだろうと考えられますね。

はたらく子どもたち



「このノートは200フランだけど、こっちは150フランよ！」 商売上手な女の子です。

学校へ通い、帰ってきたらすぐに家の手伝いをしています。でも本当はサッカーボールが欲しいと言っています。



ビンに入っているのはバイクに入れるガソリン。においがきつく大変ですが、とても頑張っています。



学校に通うことができず、本当に貧しい暮らしですが、いつでも元気は忘れません。

いよいよ8月からはポルトノボで活動を開始します！

ブログ更新中

ベナンの風：<http://benin.seesaa.net/>